

B I R D

トラネコボンボン

2021

7/10-25
sat sun

11:00-18:00

休廊日 7/13 tue, 21 wed

作家在廊日 7/10 sat, 11 sun

※初日は予約制となります。

詳細は百草ホームページ・SNSにてご案内いたします。

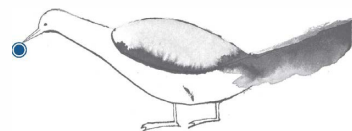
<https://www.momogusa.jp>

中西なちお◎料理人。旅するレストラントラネコボンボン主催。穀物と野菜を中心に、季節や場所に合わせた料理を提案している。Blog「記憶のモンブチ」では毎日一枚、動物の絵を更新中。2011.3.11、避難先から友人に何か送ろうかと尋ねたところ「毎日一枚動物の絵を送って」と言われてから毎日描いている。なお「記憶のモンブチ」は茶色いトラネコが住んでいる世界の話である。



〒507-0013
岐阜県多治見市東栄町 2・8・16
tel. & fax. 0572-21-3368

多治見 IC より車で10分 /
JR多治見駅北口よりタクシー12分
(JR多治見駅より東鉄バス13分「高田口」下車 1km)



●出品内容

- ・絵本「BIRD」
著者／中西なちお / トラネコボンボン
装幀／サイトラヒデユキ
- ・絵本「BIRD」の原画 約70点
- ・青い鳥の描き下ろし原画 約130点
- ・青い鳥のポストカード
- ・焼き菓子・野草茶
- ・切り売りの布
(青い鳥の刺繍布・トラネコボンボンの青い布)
- ・トラネコボンボン書籍

〈コラボレーション × 百草〉

- ・青い鳥の絵付け皿
- ・青い鳥刺繍布サロン

●カフェ

トラネコボンボンディレクションの軽食ランチをお召し上がりいただけます。

11:00-18:00 (L.O. 17:30)

メニュー・席の予約不可
カフェ内・お待ちいただく折の感染防止対策にご協力お願いいたします

●今後のスケジュール

7/26 mon-7/28 wed 展示替えのため休廊

7/29 thu-8/1 sun 常設展示

8/2 mon-8/6 fri 夏季休廊

8/7 sat-9/6 mon 常設展示 火水休廊

9/7 tue-9/10 fri 展示替えのため休廊

9/11 sat-9/26 sun 矢野義恵展 休廊日未定

9/27 mon-9/29 wed 展示替えのため休廊

B I R D

Nachio Nakanishi

Toraneke bonbon

at

galerie
momogusa



百草

東日本大震災後に、なちおさんが一日一枚描き始めた動物の画「記憶のモンブチ」。一年半分の原画を纏めた分厚い図録の出版と同時に、その夥しい数の原画を土間の壁から畳の間に林立した板、廻り廊下のガラス戸いっばいに、日記のような形で展示した。2013年3月に行なったその展覧会には多くの方々が訪れ、胸を打つものになりました。

「記憶のモンブチ」は今も続けられ、各地でその後の「記憶のモンブチ」展が開催されました。中西なちおさんに次回の展覧会をお願いした時、震災から10年後の2021年3月に、と約束して下さいました。

その時が近づき、今度はまったく予測しなかったコロナ禍という世の中に。10年前、世界が日本の東北や福島へ目を向け、また世界中の人が助けの手を差し伸べました。今度は、世界中が共通の痛みを抱えるパンデミック。それなのに国境は閉ざされたままです。

鳥は世界共通の空を舞い、自由に行き来します。コロナ禍、なちおさんは、来る日も来る日も青い鳥の画を描き続けました。ありとあらゆる種類の鳥。いろんな思いを載せた鳥。同名のモーリス・メーテルリンク作の童話では、2人兄妹のチルチルとミチルが、夢の中で過去や未来の国に幸福の象徴である青い鳥を探しに行くが、結局のところそれは自分達に最も手近なところにある、鳥籠の中にあつたという結末の物語です。

誰もが幸福とは何かを考えたこの期間、なちおさんがたくさんの青い鳥を生み出して、全世界の人たちに幸せの青い鳥を放ってくれました。鳥たちは自在にこの世をも飛び越え、会いたいひとのもとへ…。

